

讃美歌21 341

1. 来たれ聖霊、わが主。われらの心を
恵みもて満たし、燃え立たせたまえ。
み光求める 世界のみ民は
ここに集められ 主のみ栄えを歌う。
ハレルヤ、ハレルヤ。
2. 聖なる光、わが主。われらの心を
生ける言葉もて 照らし導いて
主イエスの教えし 正しき信仰
心乱さずに かたくまもらせたまえ。
ハレルヤ、ハレルヤ。
3. 聖なる炎、わが主、なぐさめの神よ。
喜びのうちに 主につかえさせて、
われらをとるまく すべての悩みに
うちかたせたまえ、死の時が来る日まで。
ハレルヤ、ハレルヤ。

EG125 T/M Veni sancte spiritus reple (1) / Martin Luther (2/3)

1 Komm, Heiliger Geist, Herre Gott, erfüll mit deiner Gnaden Gut
deiner Gläub'gen Herz, Mut und Sinn, dein brennend Lieb entzünd in
ihn‘.

O Herr, durch deines Lichtes Glanz zum Glauben du versammelt hast
das Volk aus aller Welt Zungen. Das sei dir, Herr, zu Lob gesungen.
Halleluja, Halleluja.

2 Du heiliges Licht, edler Hort, lass leuchten uns des Lebens Wort und
lehr uns Gott recht erkennen, von Herzen Vater ihn nennen.

O Herr, behüt vor fremder Lehr, dass wir nicht Meister suchen mehr
denn Jesus mit rechtem Glauben und ihm aus ganzer Macht vertrauen.
Halleluja, Halleluja.

3 Du heilige Glut, süßer Trost, nun hilf uns, fröhlich und getrost in deinem
Dienst beständig bleiben, die Trübsal uns nicht wegtreiben.

O Herr, durch dein Kraft uns bereit und wehr des Fleisches
Ängstlichkeit, dass wir hier ritterlich ringen, durch Tod und Leben zu dir
dringen. Halleluja, Halleluja

「サプライチェーン再編の現実」

ルカによる福音書 12:22-29

「それから弟子たちに言われた。「だから、わたしはあなたがたに言います。いのちのことで何を食べようかと心配したり、からだのことで何を着ようかと心配したりするのはやめなさい。いのちは食べ物より大切であり、からだは着物よりたいせつだからです。鳥のことを考えてみなさい。時きもせず、刈り入れもせず、納屋も倉ありません。けれども、神が彼らを養ってくださいます。・・・あなたがたのうちのだれが、心配したからといって、自分のいのちを少しでも延ばすことができますか。・・・きょうは野にあつて、あすは炉に投げ込まれる草をさえ、神はこのように装ってくださるのです。ましてあなたがたには、どんなによくしてくださることでしょう。ああ、信仰の薄い人たち。何を食べたらいいか、何を飲んだらいいか、と捜し求めることをやめ、気をもむことをやめなさい。」

昨年3月のコロナ危機以降、私たちは、正装し又は着飾ったり、会食にでかけたりする機会は、本当に少なくなりました。

即ち、感染が拡大の影響で、自宅の外で外食し宿泊したりする回数は減り、在宅勤務の増加でスーツで出勤することも減り、卒業式や結婚式などで正装し出かけることも大きく減りました。これらに関連する産業分野では経済的打撃は甚大です。今年になって、持続化給付金の支給にも遅れが目立ち、銀行融資を継続するなかで、休業や廃業に追い込まれる企業・商店も目立つようになってきました。

これに対し、ネットによる電子商取引(EC)は、国内外で拡大し、さらに宅配サービスの需要も増加し、人手不足が加速し、物流コストも高まる傾向にあります。

いずれにせよ、コロナ危機にもかかわらず、日本で生活必需品の生産や物流は安定的に維持されていることは驚くべき状況で、日常生活が物資不足でパニックになる事態に至っていないことは、非常に幸せなことです。

世界では、戦略物資、基幹部品及び製品の生産・流通に大きな異変が起きています。典型的な例が、半導体の供給で、電子機器だけでなく、自動車の生産が一時停止に追い込まれています。近年生産される新車には、エンジンの始動、発車、走行の制御、停止にいたるまで、半導体を組み合わせたモジュールが組み込まれているためです。

現在、高度な半導体の供給は、アジアの特定の国・地域に偏り、供給不安拡大しているものの、設備増設となれば、場合によって1千億円単位の投資が必要になるといわれます。

既に、コロナ危機の発生直後から、いろいろな医療物資や機器の調達が困難になっていました。医薬品製造が多いインドでの感染拡大は、不安を増幅させています。さすがに、フェース・マスクや消毒剤は、急速な生産拡大で、現在は十分供給されているようです。同時に、医療廃棄物の処理が急増し、その一部が投棄されて海洋汚染が広がると問題が、アジア諸国で波紋を広げています。

日本で、重篤なコロナ患者が高水準のままなので、医療機関における医療従事者の防護具のみならず人工呼吸器の調達などは、いつも綱渡りの状況でした。コロナ病棟での医療従事者の確保も困難が増し、月間に300時間以上も残業する医師や、100時間以上の時間外労働が発生する病棟の看護師の心身が疲弊する可能性があります。さらに、遅れていたワクチン接種では、医師や看護師以外に例外的に接種を行える医療従事者を確保する措置が不可欠となりました。今月になって、一日に100万人の接種を達成しているドイツなどでも、機動的な対応がとられるようになりました。

現在、アジア諸国をパンデミックの第2波が襲っています。特に、インドにおける感染の爆発的拡大は、大きな影響を与えています。こうしたなかで、アジア域内に広がったサプライチェーンの再編成とリスク管理の強化の緊急性は、一層高まっています。

しかし、こうした課題は、コロナ危機が起きたから顕在化したわけではありません。近年の米中対立の深刻化のなかで、米国が2018年7月以降、中国からの輸入製品に、4段階で関税を引き上げ（第4段階の後半は、幸い見送り）、同年の米中間の貿易は、15%近くも減少したとみられます。その影響は、既に周辺諸国に波及し、特に、対米輸出を中国からアセアン諸国からに代替する動きが顕著です。サプライチェーンは、既に複数の拠点を有している企業の場合は比較的円滑ですが、完全に生産拠点の移管するには、巨大な移転費用を伴い、関税引き上げの損失を上回ってしまう場合もあるのです。

それでもアジア諸国では、域内に広がるサプライチェーンは、地域経済発展の源泉であることは、かなり理解されていると思います。国際経済学では、国や地域がサプライチェーン（又は「工程間分業」production fragmentation）のどの工程に特化するかは、その国や地域の将来を左右することになります。低生産性の製造業雇用が増えるだけでは、高学歴化する若年層が国内で将来性あるキャリアの仕事を見つけるのは簡単でないようです。

しかし過去30年間の東アジアの経験から、国境を越えたサプライチェーンの形成に当たり、リスクへの対応の強化は不可避ですが、将来ともに経済発展の大きな源泉といえます。その意味で、2020年11月の東アジア地域包括連携協定(RCEP)は、大事な前進といえます。

同時に、こうしたサプライチェーンの拡大は、大きな責任を伴います。それは、サプライチェーンの末端で、児童労働や強制労働、あるいは、環境破壊などが発生しないかどうか、加えて、災害や危機へのリスクにも、十分な注意を払う義務が生じていることに注意してください。

本日のルカによる福音書で、イエス様が語っておられるのは、あたかも「地産地消」の世界ですが、かえって、現代の新たな問題に気づかせてくれます。

第1に、現代のサプライチェーンが、地球の環境や資源に、大きな負荷を与えてきたことです。また、自然災害、貿易戦争や経済危機がきっかけで、水、原材料、中間製品及び最終製品の供給が停止し、安定した生活と命の維持を脅かすリスクがあります。

第2に、近年、サプライチェーンを効率化するため、最適地に集中し、在庫を極力削減し、安い人件費や流通経費を求めすぎた反省から、多極化する工夫が重要で、その際、低開発地域の人々の就労や生活、そして人権を犠牲にしない責任が高まることです。

第3に、米中摩擦の影響で、安全保障上の思惑から、サプライチェーンの再編はエンドレスになる恐れがあります。コロナ危機からの回復の過程で、経済格差が拡大することに対処することが必要です。

デジタルな技術の応用も、IOTの高度化は、サプライチェーンの再編の重要な力になると考えられます。しかし、これも、新たなリスクを生みます。

もっと大事なことは、私たち一人ひとりが危機に対する強靱性を高めるために、国際協力を強める精神をもち、特定の地域や人々を犠牲にしないよう、サプライチェーンを再編する努力を支援することだと思っています。

アジアの長年の悲願であるRCEPが実現するアジアの未来にとって、それが重要なことを、敢えて強調しておきたいと思います。